

病院の概要

- 病床数 506床
- 医師数（研修医を除く） 71名（うち指導医数 24名）
- 研修医数 1年目 6名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 千葉大学・東北大学・埼玉医科大学・群馬大学・秋田大学・筑波大学・三重大学・山梨大学・獨協医科大学
- 診療科 内科 精神科 神経内科 消化器科 循環器科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 放射線診断科 放射線治療科 緩和ケア外科 歯科・口腔外科 病理診断科 総合診療内科
- 1日平均外来患者数 817.3名 ● 1日平均入院患者数 379.7名
- 主な認定施設 救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、骨髄移植施設、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院



研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は、埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。

当院の研修プログラムの特徴は、第一に「病院規模に対して研修医定員枠が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や上級医が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起きません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。

第二に「研修医の要望に応じ融通性のある研修スケジュール・科目を組むことができる（＝自由度が高い）こと」です。2年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。

また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にはとても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。



プログラム 例 深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム（募集定員8人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科（一般・循環器・神経・血液・消化器）						麻酔科	救急部		非必修口一テ	外 科	
2年目▶	希望選択科						地域医療			希望選択科		

【必修科目】

内科：一般内科（2か月）、循環器科、消化器科、神経内科、血液内科（各1か月）、救急：救急（3か月）※2年間の救急外来当直で1か月分相当
地域医療：赤十字血液センター、研修協力施設（1か月）

【選択必修科目】

麻酔科（1か月）、外科（2か月）

研修医の処遇

- 給 与▶1年次：35万円/月（賞与10万円/年） 2年次：40万円/月（賞与30万円/年）
- 諸手当▶宿日直勤務手当 1.8万円/回（1年次10月から支給）、住居手当 最高2.85万円/月
- 保 険▶健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
- 勤務時間▶8時30分～17時00分
- 当 直▶あり（4～5回/月）
- 休 暇▶有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）、夏期休暇3日（7月1日～9月30日）、年末年始休暇（12月29日～1月3日）、その他の休暇は病院嘱託・臨時職員就業規則の定めによる
- 宿 舎▶なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

さいたま赤十字病院（さいたま市）
小川赤十字病院（比企郡）
原町赤十字病院（群馬県吾妻郡）
佐々木病院（深谷市）
深谷整形外科医院（深谷市）
内田ハートクリニック（深谷市）
井上こどもクリニック（深谷市）
おおしまクリニック（深谷市）
皆成病院（深谷市）
埼玉よりい病院（大里郡寄居町）

当院のキーワード

研修医一人一人のオーダーメイド

当院の研修では、『研修医は〇〇しなくてはならない』という決まりはありません。研修医がその科で何を目標として、何をやるのかは毎回その科の指導医と相談して決められます。

例えば、朝の採血・点滴のラインどりなどから始まってどのような手技を重点的にやるのか、どのような患者さんを受け持つのかも一方的に決められるのではなく、自分の希望を指導医に伝えて相談にのったうえで決めています。このようなオーダーメイドの研修を行えるのは、当院の研修システムに融通性があることや病院の規模に対して研修医の数が少ないためであり、病院全体で研修医を育てるという体制を整えています。

診療科が24科あり、研修する科においてカンファレンスが定期的に行われています。また、英文の抄読会を月1回研修医が持ちまわりで行っており、研修期間中でもまとまった量の英語論文を読む機会もあります。

研修医一人一人が自ら考えて研修期間の診療科選択や研修内容を構築でき、同じ診療科でも十人十色の研修内容になります。



研修責任者から

当院は、地域の基幹病院として高い専門性とともにバラエティにとんだ症例を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験が売りです。

初期研修期間は、将来どのような医師になるのかを決める（決まる）大切な期間であり、研修の3つの要素である「知識」「技能」「態度・習慣」のうち、初期研修時に最も培うべきは、「態度・習慣」であると思います。

患者さんに直接足を運ぶ習慣などは、この時期に身につけねば、データからのみの判断で指示を出すような医師となってしまうでしょう。知識と技術は初期研修、後期研修、専門分野と研鑽を積みにつれ確実に増えて行きますが、態度・習慣は逆に疎かになることさえあります。

当院では、研修医に実践してもらおうのを原則にしていますので、技術的SKILLUPが体感できると共に、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば温かみのある研修環境を目指しています。

当院での研修を通じ、患者さんを中心にコ・メディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。



院長(プログラム責任者)
伊藤 博

先輩研修医から

当院の研修プログラムは自由度がとて高く、研修医一人一人の意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長です。2年目に希望選択科を長く選ぶことができるので、将来希望する診療科が定まっている人でも、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人でも融通のきくプログラムです。

当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科と病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少なめなので、研修医一人当たりが経験できる症例や手技が豊富にあります。また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医が全てファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができ、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接してくださり、アットホームな雰囲気の中で研修をできるのも魅力の一つです。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！



研修医2年目
櫻井 健一

女性医師支援コーナー

当院は、女性職員への支援制度として以下の特別有給休暇制度を就業規則で定めています。

- ・産前産後休暇（母子保健法の定めによる勤務免除含む）
- ・生理休暇
- ・育児休業（育児短時間勤務含む）
- ・子の看護のための休暇

その他の福利厚生については、お問い合わせください。

平成28年度より院内保育所が開園（利用対象は、生後2ヶ月から小学校就学前まで）。職員なら誰でも利用可能なため子育て中の職員が安心して仕事に専念できるよう支援します。



連絡先

深谷赤十字病院

〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1

人事課

TEL 048-571-1511(代表)

FAX 048-573-5351

E-mail jinji@fukaya.jrc.or.jp

URL http://www.fukaya.jrc.or.jp/

アクセス JR高崎線深谷駅より徒歩20分、籠原駅よりバス17分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付中です。

レジナビフェア2017春、夏（いずれも東京会場）に出展予定で、院長・指導医・研修医が会場で説明します。

お待ちしております。